

## 女性以外の SW（セックスワーカー）に対する効果的な介入方法 ～トランスジェンダー・セックスワーカーの性の健康に関する啓発の実践と研究～

研究分担者：今村 顕史（東京都立駒込病院）  
研究協力者：砂川 秀樹（明治学院大学国際平和研究所）  
浅沼 智也（TRANS VOICE IN JAPAN）  
荒木 順（特定非営利活動法人akta）  
生島 嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京）  
金子 典代（名古屋市立大学）、  
塩野 徳史（大阪青山大学）  
畑野とまと（SWASH）、宮田りりい（SWASH/MASH大阪）  
カエベタ亜矢（新宿区保健所）、堅多 敦子（東京都立駒込病院）

### 研究要旨

海外の研究からは、トランスジェンダーのセックスワーカーが HIV のリスクにさらされていることが指摘されているが、これまで日本においては TG-SW はおろか、TG 全体に対する HIV や STI に関する研究もほとんどおこなわれておらず、HIV に関する啓発も少ない。よって、この研究では、トランスジェンダー（以下、TG）に絞って、HIV 受検行動を含むセクシュアルヘルス促進に関わる啓発をおこない、研究を進めていく。

啓発の最終的な目標は、以下を実現するための環境づくりである。・HIV など性感染症に関する情報が入手できる ・新しい情報に基づき、性感染症に関する予防方法を自ら選択実行できる ・HIV など性感染症の可能性があったとき、安心して検査を受けられる ・HIV など性感染症に感染したときに、安心して治療につながる事ができる。

そのため今年度は、啓発の方法の立案、これまでに関する調査・研究・活動等をおこなってきた者による調査結果や活動経験の共有、インタビュー調査の実施、啓発の効果を評価する役割も担う質問紙調査の準備をおこなった。結果、①健康に関する情報を中心としたサイトの制作 ②TG が集まる場所に置いてもらう印刷物（ニューズペーパーなど）の制作 ③TG ではない人も来訪し交流できる集まりの開催を啓発としておこなっていくことを確認した。調査結果や活動経験の共有では、TG の医療機関受診の難しさ、TG 向け啓発、居場所の必要性が確認された。

また、今回のインタビュー調査では、店舗スタッフ（1名）や経営者（1名）のほか、SW としてトランス男性（1名）、女装者（1名）の協力を得ることで、TG-SW の置かれている環境を多角的に捉えることができた。店側の協力者からは、共通して、TG 向けの HIV や STI 情報の不足、HIV に対する身近感の無さ、健康情報への関心の低さ、メンタルヘルスの問題が語られた。よって、TG-SW が、HIV/STI に関する情報を得て、自ら予防行動を選択し、必要なときに診療を受ける環境づくりには、TG を明確にターゲットとした情報づくりが必要であり、同時にメンタルヘルスも含めた総合的な視点で健康をとらえねばならない。なお、本研究インタビューは、目的である啓発を意識していることもあり、インタビュー後の関係継続も図っている。経営者である協力者からは、店舗を経営する側の立場からの、SW の HIV を含めた性感染症の検査の証明書の提示に関する相談があり、この研究班で今後啓発を進めていく中で、そのことに対する立場を検討する必要があることに気づかされる結果となった。SW 二人のインタビューからは、TG-SW の多様性が一層明確になった。また、インタビュー協力者とは、今後の啓発への協力に向け、関係づくりをはかり、インタビュー後のやりとりも TG-SW を取り巻く環境についての一助となっている。

## A. 研究目的

本研究は、2017-2019 年度の「HIV 検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」の分担研究「性産業に従事する MSM とトランスジェンダーの実態調査と受検勧奨」を引き継ぎながら、対象をトランスジェンダー（以下、TG）に絞り、HIV 受検行動を含むセクシュアルヘルス促進に関わる啓発をおこない、研究を進めることを目的としている。この研究には、トランスジェンダー・セックスワーカー（以下、TG-SW）の置かれている状況の更なる把握とともに、啓発を進めていくための協力体制の構築、啓発介入のための手法の立案、実施であり、その全体の動きをもモニタリング、評価しながら、一つのモデルケースを提示することが含まれる。

先の研究でも言及したように、トランス女性 (MtF= 出生時に振り分けられた性別は男性だが、その後女性への性別を移行した人を指す) を対象とした HIV/STI に関連する調査では、どの国や地域における調査も、大きなリスクにさらされていることが明らかになっており 1)-4)、MSM と比較した研究においても、MSM よりもより高い感染リスクが報告されている 5)-6)。

しかし、これまで日本においては TG-SW はおろか、TG 全体に対する HIV や STI に関する研究もほとんどおこなわれていない。日本のトランス女性のセックスワーカーに関する調査として、セックスワーカーの当事者と支援者の団体の協力によりおこなわれた東優子らによるものがあり、トランスジェンダーの人たちの生きづらさを指摘しながら、リスク要因に引き続き注視していく必要性が指摘されているが 7)、その後、TG-SW に関する十分な調査はなされていない。

よって、TG-SW が、他の SW とどのように異なるのか(あるいは同質性や類似性があるのか)、どのようなジェンダー(性自認、性別表現、身体性)やセクシュアリティの人たちが働いているのか、そして、どのような労働環境にあり、HIV/STI 予防を含めたセクシュアルヘルスに関しての状況等、HIV に関する分野において知られてこなかった。

先の研究では、MSM と TG の SW を対象としてい

たこともあり、TG-SW については限定的な調査となったが、インタビューやサイトの分析などから、TG-SW の多様性や、労働環境などの現状、現場で生じる力関係等について把握した。その中で、店舗で SW に従事する SW よりも、個人で掲示板などを通じて「サポ」(サポート=援助の意)という形でセックスの機会を持つ TG のほうがスクにさらされやすいことも指摘した。

ただし、前者に関しても、こうしたインタビューでは、性感染症などの感染予防への意識が高い人が答える傾向にあることを考えるならば、安全性が高い環境にあるとは言い切れない面もある。そのことを意識しながら、本研究では、インタビュー調査を継続し、より多様な人からの経験を聞き取っていく。また、冒頭で触れたように、本研究は、具体的に啓発を進めていくことを主眼としていることから、このインタビューもより啓発との関係を意識している。この点に関しては、手法において説明を加える。

最後に、本研究では、具体的な最終的な目標について確認しておきたい。それは、以下を実現するための環境づくりである。

- ・HIVなど性感染症に関する情報が入手できる
- ・新しい情報に基づき、性感染症に関する予防方法を自ら選択実行できる
- ・HIVなど性感染症の可能性があったとき、安心して検査を受けられる
- ・HIVなど性感染症に感染したときに、安心して治療につながるができる

## B. 研究手法

### 1. 啓発の立案

本研究の目的である TG-SW への啓発をおこなっていく手法の立案を、生島嗣、砂川秀樹、塩野徳史、荒木順、宮田りいとおこなった。なお、これらの啓発を進めていくうえで、協力者を増やしていくこと、当事者の意見を広く聞いていくことも確認された。

### 2. パネルディスカッション開催による共通認識の共有

パネルディスカッション(オンライン)を開催し、これ

までトランスジェンダーに関する調査、研究、活動等をおこなってきた浅沼智也、荒木順、砂川秀樹、畑野とまと、宮田りいが、調査結果や活動経験を発表し、今後 TG の性産業従事者や事業者等に対する介入を進める上で必要な共通認識の共有をおこなった。

また、TOKYO AIDS WEEKS 参加企画として一般公開(申し込み制)とし、事前に SNS や TG をテーマにしたイベント等で広報することにより、TG-SW の健康問題への取組みの開始を広く知らせる契機としての役割ともなった。

### 3. インタビュー

主な質問項目は下記に掲げた通りであるが、答えたくない質問には答える必要がない旨を開始前に伝えてある。

▼年齢 ▼居住地(都道府県) ▼出身地 ▼自身の性自認にまつわるアイデンティティや呼び名について ▼性的指向について ▼ジェンダー移行に関するライフヒストリー ▼自身の性産業とのかかわり/働き方(経緯、現場での性行為の内容とその決定のされ方、性行為内容決定への自身の意志、コンドーム使用、予防の様子、HIV や STI 検査の経験) ▼医療機関への受診について(STI が気になったときの診察、他の病気等、体調が悪い時の受診の経験やハードル) ▼他の SW との交流、関係、TG-SW が働く他の性産業に関して ▼性産業の現場への意見(自分が従事している店舗や業界全体で必要と思うこと、HIV に関連した施策で望むこと) ▼プライベートな性行為について ▼PrEP に関する知識

また、それぞれの性風俗の経験やジェンダー移行の違いなどに応じて聞く内容は変えており、さらに、一問一答のような形式的な質疑応答になることを避け、会話の流れを重視し、相手の様子に合わせて、尋ねる順番や聞き方もそれぞれに異なっており、よって、ほぼ自由面接の形でおこなった。これは、ラポール(信頼関係)の形成と、単発のインタビューで終了しない関係づくりを意識したことによる。

インタビューなど直接的にコミュニケーションをとる質的調査が、ラポールの形成に大きな影響を受けることは広く知られている。ラポールが形成されないインタビューからは、本音や語りづらいい経験を語ってもらえないからだ。社会的に周縁的な位置に置かれている、スティグマ化されやすい属性を持つ人たちを対象とするときは、特にその関係性が重要となる。

また、「インタビューで終了しない関係づくり」は、本研究の目的となっている啓発を意識してのことである。今後、啓発を進める上で、インタビュー協力者に意見や感想を提供してもらうことも視野に入れている実際、ある協力者とは、その後もメッセージでのやりとりが続いており、TG-SW を取り巻く環境についての理解をさらに深める一助となっている。

インタビューは承諾を得た上で IC レコーダーに録音、文字起こしを行った。なお、リクルートは、知人を介しての依頼、SNS や出会い系募集の掲示板を通じて、個別にメールで依頼文を送る形で行った。

### 4. WEB による質問紙調査

性別違和・トランスジェンダー当事者における HIV 感染症の検査や予防へのアクセス、またセクシャルヘルス全般については、日本では全く実態は明らかになっていない。そのことから、ベースライン調査として実態を探るべく、また調査の実施可能性を探ることも兼ねて、横断研究デザインを用いた WEB による質問紙調査を計画した。

当事者、セクシャルマイノリティの HIV 感染予防に関する質問紙調査の経験が豊富な 5 名の研究者と協議を複数回行い、質問紙案を策定した。基礎属性、HIV に関する基礎知識、HIV についての対話経験、HIV 検査行動、金銭の授受を伴う性産業従事経験、性行動や HIV 感染予防行動、PrEP の認知などを含む前 30 問である。その質問紙案は添付資料 1 のとおりである。対象者は、日本語が読むことができ、日本に居住する性別違和・トランスジェンダー当事者で調査サイトにアクセスしたものとする。

今後 200 人の回答者を得ることを目標に、調査プロジェクトの関わるメンバーから、当事者から知り合い、

友達に対して口頭やメール等を用いて参加協力の声かけを行い、調査回答協力を募る方法を採用する。また回答協力者には先着 200 名に対し回答協力謝礼をメールで配信することとする。2 月末から 3 月中旬までデータの収集を行う。＜質問紙は別紙＞

#### ＊用語についての説明

この研究において、性別にかかわる用語について記しておきたい。トランスジェンダーという語は、英語では広い意味で使われることが多いが、日本では身体も含め性別を含めて移行した人を指す言葉としてとらえている人も少なくない。よって、この研究で扱う性風俗の中で中心を占める「ニューハーフ」の人たちには、自身をトランスジェンダーと呼ばない人も多い。基本的に、性器を残しているからである。まして、普段は男性として生活し、仕事のときにだけ「女装」する女装者や「男の娘」(おとこのこ)が、トランスジェンダーという語に自分を一致させることは稀である。

よって、アイデンティティの立場から考えると、トランスジェンダーという用語で括ることには議論が生じるところである。だが、上記に挙げた人たちは、同じ店舗に属することも多く、同じ業界に属してると言える。よって、本調査では、それぞれの間の差異を意識しながらも、出生時に振り分けられた性別と異なる性別で性風俗で働いている人を、広義のトランスジェンダー・セックスワーカー (TG-SW) としてとらえている。

なお、トランス女性とは、出生時に女性だったが男性として生活している人を。トランス男性は、出生時に女性だったが男性として生活している人を指す。(ニューハーフ...男性器を残していることが多く、よって身体的には性別移行をしておらず、当人たちは TG という意識がないことが多いが、この研究では広義の TG に含まれるものと位置づけている)

### C.研究結果

#### 1. 啓発の立案

具体的な啓発の方法として、TG 向けに次の三つを行っていくことが確認された。①健康に関する情報を中心としたサイトの制作 ②TG が集まる場所に置

いてもらう印刷物(ニューズペーパーなど)の制作 ③TG ではない人も来訪し交流できる集まりの開催。

①に関しては、SW だけを対象とするのではなく TG 全般に必要な、セクシュアルヘルス情報も含めた健康情報を掲載する。そうすることで SW もアクセスしやすくなり、結果、必要な情報が得られるからである。なお、どのような情報が必要か、当事者にヒアリングしながらサイト構築をおこなっていく。

②は、インターネット上の情報では、自ら関心を持って進んで調べなければたどり着けないことが多いことから、今すでに TG が集まっている場所に印刷物を置くことで情報を届けられるのではないかと出された案である。MSM 向けの啓発資材ではなく、TG 向けに制作することの意義が強調された。

③は、隔月で dista (大阪) で開催されている「kinky cafe」や、akta (東京) で開催された「トランスカフェ」とこの研究とを連携させ、啓発の機会としていく案である。意見交換では、TG がセックスの話をする場がなく、安心して率直に話せるこうした集まりが必要であることが強調された。この集まりでも、②で制作した印刷物を配布し、①のサイトを知らせていくなど、この三つをつなげていくことも重要である。

また、この先 2 年間で実施していくにあたり、啓発介入の影響を調べるため、研究手法の 4 に記した質問紙調査をおこなう。

#### 2. パネルディスカッション開催による共通認識の共有

ここでは、パネルディスカッションにおけるそれぞれの発表から、本研究と関連して重要と思われる箇所を中心に要約し、考察では、これらの内容から今後の TG-SW への性の健康に関する啓発に向けての課題を挙げる。

#### GID/TGの医療アクセスの現状調査から 浅沼智也 (TRANS VOICE IN JAPAN)

「GID/TG の医療アクセスの現状調査」(実施者: TransS/金子典子)の報告。調査期間は、2020 年 5 月 1 日～21 日、ウェブアンケートとして行い、有効回答数は 484 件であった。

年齢:18 歳から 67 歳までからの回答で、20 歳から 30 歳が 6 割以上、平均 35.8 歳。性別:FtM(トランス男性)が 46.7%、MtF(トランス女性)31%、自由記述でノンバイナリー、X ジェンダーという回答。

戸籍名を変更した人の割合:42.1%。戸籍名を変更したいが、まだ変更していない人の理由として、約 4 割が治療段階の問題、家族との関係。

これまでに受けたことがある治療:精神療法(カウンセリング)73.6%、ホルモン療法 71.9%、手術療法 45.2%。現在受けている治療:ホルモン療法 68.2%、精神療法/カウンセリング 26.7%。ホルモン剤を処方されている診療科(複数回答):泌尿器科 23.3%、婦人科 22.3%、内科 20.9%、精神科 16.6%、美容外科 11.6%。

風邪、怪我、体調不良時に医療機関を受診ためらった経験:ある 48.1%。医療機関受診時の嫌な体験:ある 49.6%、ない 27.6%。嫌な体験をした科:内科 61.3%、精神科 30.0%、婦人科 27.4%、外科 15.7%。医療機関入院時の嫌な体験:入院経験なし 45.7%、ある 13.2%、ない 39.5%。

受診時に医療従事者に配慮してほしいこと(複数回答):問診票に男女のみならずその他を入れてほしい 53.1%、性別を何度も確認しないでほしい 51.7%、フルネームで呼ばないでほしい 44.4%、じろじろ見ないでほしい 35.7%、呼ばれたい名前に配慮してほしい 32.4%、どのように呼ばれたいか聞いて欲しい 31.4%。

**居場所をつくる** ジャンジ/荒木順(パフォーマンスアーティスト/NPO 法人 akta/元・「akta」センター長)

トランスジェンダー、GID、ノンバイナリー、X ジェンダーの人たちにとっての安心安全な場所について、2019 年、akta で TG の多様性を知ってもらいイベントを開催した(企画:浅沼、荒木)。参加者数は、7 月開催時に約 60 人、9 月開時に約 45 人。展覧会「I am Transgender Diversity」(9 日間開催)の来場者は約 100 人、展覧会時のトークショー、約 50 人。これらのイベントを開催する中で、TG や TG に関心を持つ人たちの居場所が必要とされていると感じた。

昨年の akta での相談件数 94 件あった。HIV/AIDS のセンターなので、HIV/AIDS の相談が 49%と約半数だが、セクシュアリティの相談が 19%あり、メンタルヘルスの相談も 6%だがある。相談者の属性としては、センターが MSM 対策のセンターなので、ゲイ・バイセクシュアル男性、MSM の人の利用が 84%を占めるが、その中にはトランス男性も含まれており、さらに「その他」16%の多くが、TG の人たち、ノンバイナリー(二項対立的な性別ではない人、X ジェンダーも同じ)であり、TG、ノンバイナリーの人などにも場が開かれ、相談、情報、支援の提供が必要とされている。しかし、TG、ノンバイナリーの人たちを中心に考えている場は現状とても少ない

安心安全な居場所とは、「見た目で性別やセクシュアリティを決めつけられたり、コメントされない」「一人一人違うことが尊重される」「価値観を押し付けられない」「OK! っていう空気感」「多様な人たち出会える」など。そして、これを実現するため、性の健康というテーマでは、バーやショップ、性風俗店、SNS、出会い系サイト、サークル等、様々なコミュニティとの連携が必要である。

#### **セックスワーカー調査から** 砂川秀樹(文化人類学者)

2017-2019 年度の「HIV 検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」中の「性産業に従事する MSM とトランスジェンダーの実態調査と受検勧奨」から一部報告。

インターネット上の調査により作成した TG-SW の在籍する性産業事業者リスト(制作協力:畑野とまと)では、女性主体の店舗 146 軒、TG-SW が専門の店舗 63 軒、混合型店舗が 19 軒あった。

これらの店舗のサイトを分析したところ、性感染症予防のために客に同意が求められている事項は主に四つに分けられた。それぞれの項目と、それらが提示されている店舗サイトの占める割合は以下の通り。

アナルセックスでのコンドームの使用 37.8%、口内射精の禁止、アナルを舐める行為の禁止 14.6%、性病等に感染していると思われる症状がある場合に断ることがあることへの承諾 43.9%。

しかし、女性主体の店舗では、売春防止法によって本番行為が禁止されている関係から、本番行為の証拠とされるコンドームに関する明記がない。その一方で、TG 女性によるサービスには肛門性交が挙げられており、彼女たちがリスクにさらされやすい可能性が示唆される。

ほか、TG-SW のインタビュー調査からは、TG とひとことで言っても非常に多様である。その多様性は、アイデンティティに限らず身体の性別移行の程度にも及び、そのため抱える問題も多様となる。例えば、TG-SW では、トランス女性がイメージされることが多いが、トランス男性も少なくない。トランス男性は、膣が閉じていない身体状態であることが珍しくないため、膣に何らかの感染症の可能性が生じたときに受診する診療科への迷いが生じがちである。あるインタビュー協力者からは、婦人科に行ったところ、TG についての理解がなく困ったという経験も語られている。

また、TG-SW は、MSM-SW と連続性や近接性があるが、HIV が身近なものとしてある MSM よりも情報が届きにくい、また危機感を感じにくいという指摘もあった。さらに、MSM でも TG でも店舗に所属する人より、個人で金銭の授受を伴いながら性行為をおこなっている人たちが、もっともリスクにさらされやすいこともインタビューからもうかがえた。

最後に、ある MSM-SW の店の元経営者から指摘されたことだが、これまで議論されてこなかったことだが、HIV 陽性だが治療により HIV が検出限界以下になった SW の仕事の継続について肯定的に語る必要があるのではないか。これは、SW 全体に関わる問題と言える。

### 日本におけるトランスジェンダーの性風俗の移り変わり 畑野とまと(トランスジェンダー活動家・SWASH)

1980年代にニューハーフ専門の風俗店が登場。90年代、大規模店は、東京に4~5店舗しかなかった。1店舗にSWは、多くて10名程度で、よっ当時は、都内でも多くのTG-SWが在籍していたわけではない。しかし、2020年になると、大規

模店が増え、チェーン店もあり、全国で1000名以上のTG-SWがネット上で確認される。

そうした中、ゲイの売専の人たちにも声を掛け、女装の仕方を教えるからと勧誘する店が増えている。ニューハーフの風俗は、女性の風俗店と一番大きく異なる点は、SW が自身のペニスを使い客のアナルに挿入するコースの存在で、それが一番人気がある。

TG-SWの年齢は、25歳から29歳が中心で若い。ただ 50 歳以上の人もおり、幅広くもある。身体の状態は、性器に関しては手術をしていなくてホルモン投与だけはしているという形が多く、「男の娘」と呼ばれる SW は、手術はしていないし、ホルモン投与もしていない。それが3割くらい。性別適合手術、性器の手術をしている人は3%ぐらいしかいない。

今後調査が必要されることとして、海外からやってきたトランス女性で、街頭で客引きをしている人たちのことがある。この人たちの状況は、調査も進んでおらず、コミュニティと接触がない。

トランス女性の HIV リスクは、UNAIDS の発表ではス(出生時の性別で生きる)女性の49倍となっている。ゲイコミュニティは HIV 啓発をおこなってきたが、その活動から漏れた部分が思い切りその TG の方に表れている。

### コミュニティセンターdistaにおけるトランスジェンダーのための取り組み 宮田りい(MASH大阪／公益財団法人エイズ予防財団 リサーチ・レジデント)

日本のエイズ予防指針にはトランスジェンダーという言葉は記載されていない。同指針が 2018 年改正される際、パブリックコメントが募集され、私もトランスジェンダーも同指針に入れるべきだと書いたが、厚労省からの回答は、MSM は、本人の性自認に関わりなく男性間で性的接触を行う方全般を意味する語として使用しているというものであった。結果、トランスジェンダーが予防指針に入ることはなかった。

例えば、私は戸籍上は男性で女性として生活していて、戸籍上男性で男性とセックスする以上、MSM に分類されるわけだが、MSM を対策とするエイズ対策は TG のことをほとんどやっておらず、ゲイ向けの

商業施設やメディアを利用するゲイ男性向けを中心としている。MSM の中で特定の層に焦点化してアプローチしていくことはとても重要だが、TG が周縁化されているということであり、TG に向けたこともやっていく必要がある。その意識のもと、dista でも TG 向けの取り組みをしている。

講師を招き、TG の人権にや TG が直面している課題等について勉強会を開いたり、I am Here という TG のセクシュアルヘルスのための冊子をつくったりした。冊子は、2020 年の 3 月発行だが、TG に焦点化した HIV/AIDS 予防啓発のための冊子をコミュニティセンターが中心となってつくったのは、初めてだと思う。また、TG について安心して話せる場所として、dista の中で kinky cafe という集まりを二ヶ月に一回開催している。

MSM 対象のエイズ対策とともに、TG 対象のエイズ対策に取り組むことが大切だと考えている。Dista のようなコミュニティセンターがあるということに加え、MSM の取り組みというのは長年にわたるノウハウや情報がある、また、TG のための活動をセンターでおこなうことで、来場者がト TG について知ったり、TG 当事者とコミュニケーションをとる機会が生まれ、偏見や差別を軽減することにつながる。また、コミュニティセンターでおこなうことで持続性もある。

## C.研究結果

### TG の性産業関係者のインタビュー調査

今回のインタビュー協力者は下記の通りである。

|                         |     |                               |
|-------------------------|-----|-------------------------------|
| スタッフ<br>(表記 ts)         | 1 人 | トランス男性 (H)                    |
| 経営関係者<br>(表記:to)        | 1 名 | トランス男性 (I)                    |
| セックス<br>ワーカー<br>(表記:tw) | 2 名 | トランス男性 1 名 (J)<br>女装者 1 名 (K) |
| 合計                      | 4 名 |                               |

2017-2019 年度の「HIV 検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」における

インタビューは、MSM や TG の SW の置かれている状況を聞き取り、基本的な職内容と問題を把握することに重点があったことから、インタビュー内容は、整理しやすいように、調査者によって要約、調整をおこなった。それにも基づき、MSM、TG の SW の性産業の構造と問題のフレームを提示した。

しかし、この研究においては、TG-SW に対象をしぼり、具体的な啓発、介入をおこなっていくことから、その世界のひとりひとりの経験を、それぞれの言葉使い、語り方を通して理解することが重要になる。これは、対象者に届きやすい、受け入れられやすい啓発は、対象者たちの「文化」(複数形の cultures)を意識して立案、形成することが不可欠だからである。

よって、インタビューのやりとりは、可能な限り忠実に引用している。ただし、文脈上重要でないと思われる言いよどみ、繰り返しは省いた。また、本人のプライバシー保護の観点から、固有名詞の変更、省略、断片化をおこなっている。なお、( )内は調査者の言葉、[ ]調査者による補完である。

#### ts-H さん

##### <立場>

30 代・トランス男性 / (現)ニューハーフヘルスのスタッフ

##### <経歴等>

ニューハーフヘルスでドライバーとして働いている。

##### <インタビュー内容(抜粋)>

[現在の仕事のきっかけ]ニューハーフヘルスのドライバーをしながら、ニューハーフヘルスの人たちの「実態を探ってる感じ」。(探るために入ったの?)そうですね。(すごい、フィールドワークしてるんだ?)そうそう。(それはドライバー募集があったってこと?スタッフ募集?)ドライバー募集があつて、なんかもともと気になってたんすけど、どういう世界かなと思って。(先に向かう運転手をするということ?)そうです。店舗と、自宅とかなので、幅広くですね。(本人たちは、どっかに待機していてというわけではなく?)人によるんですけど、待機場所はあつて、そこに家が遠い子とか

は待機してという形ですね。近い子たちはもう自宅に迎えに行って、ルームに入るか、ラブホテルとか指定されたところへっていう。

[営業・キャストの労働時間]営業時間は、[昼]12時から朝4時までだったんで、実質12時から4時まで働いてる子は、労働時間すごいですよね。(何人ぐらい働いていますか？ワーカーは)ワーカーは、12[人]とか、ですかね。(フルタイムの人が多い？)ほとんどですよ。でも、[周囲に]バレないように、日中だけのOLしてますというていにして、お昼だけしか働いてない子とかいます。自分がセックスワークをしているってバレたくない子とかもいるので。(それでもなんとか成り立つ？)成り立ってますね。(高級系？)そうです。

(ワーカーの性別の移行具合はどういう感じですか？)だいたい、竿あり、玉あり、ですね。[そういう人のほうが]ニーズが高いっていうのと、そういう子でも働きながら、まあ、性別適合手術をして膣をつくった子もいるんですけど、売り上げはやっぱりかなり下がってしまっ、需要がなくなっちゃうんですよ。それだと、まあ、変な話、通常の女の子に埋もれちゃうので。

(本人たちとしては、完全に移行したいけども、仕事のためにという人も結構いるのかな？)いますねえ。結構見てて思ったのは、まあ、性転換とかしたいとか思いながらもできない。お店のこう継続して働くにはしないほうがいいっていうのが、まあ、あるので。結構、あとは整形とかにお金を使う人が多かったりとか。

(どういう動機で入るか、それぞれなんだろうけど、それこそ適合手術にお金がかかったりするからということでも入る人も多いのかな？)そうでもないですね。理由、結構みんなに聞いているんですけど、なんか、ウリセンでやってたけど、やっぱりお金がもうからないから、ニューハーフの世界に入った子もいるし、あとは、もともとセックスが好きで、で、でも、お金を毎回かせげないから、だったら風俗業界に入って、お金がもらえたほうが一定の、いいとかですね。

(ウリ専からというのは、男性同性間で売ってたってことですよ？)そうですね。[移行した人]いますね。(でも、もともとは、一応男の子だったんだけど、今は一応女の子に見えるというか。格好をして働いているという？)そうです。最初、ウィッグとかかぶって化粧して。だったんですけど、だけど中性的な服をして、でも、やっぱり環境が変わる、ゲイの売り専とは環境が違う、女性らしい人が多いじゃないですか、徐々に女性らしさに近づいていくんですよ。なので、ウィッグをとって、髪を伸ばしていく子とか、化粧の仕方を、同じそのお店に待機している女の子に聞いて、する。化粧の仕方を学んで上手くなる人とか、服も店長から指摘されて、もっとその、女性らしいというか、セクシーな服を選んで着るようになっていって。心も自然にトランジションしていく人。あとは、なんか性別違和はないけど、スカウトされて、この業界に入った子とかいます

(もともと性別表現的には女性寄りだったとか？)いや、全然そうでもなかったみたいです。なんかそれで、声をかけられて入って、実際に仕事したしっくりきて、でも全然性別違和感はないけど、なんか女性らしく見られることに、なんか抵抗感とかはないって言ってますね。

(その場合、もともと性的指向的には、どうだったんだろう？)男性が好きだったみたいです。ただ性別違和はない、って。働いていてもそう違和になることもない、って言って。でも[その子は]トップクラスに、でも違う店舗でトップクラスの子だったんですよ。

(それは、店舗というのは系列の？)全く違う系ですね。ニューハーフヘルスって、結構店舗をぐるぐるしている人とか多いので。

(大体何歳くらいの人たちですか？)若いですね、もう二十歳...十八とかの人もありますし、いってても、四十ちょっとくらいですね。でも、整形しているので、若くみえますね。

(そういう人たちに必要と思われる情報ありますか)  
HIVとかの啓発って、ゲイの人がよくやってるので、売り専の人とかも知識として入ってる人も少なからずいるのかなという感じがするんですけど、ニューハーフ業界って結構、棲み分け理論じゃないですけど、その業界での世界ができちゃっていて、HIVと隣り合わせっていう危機感がある人が少ないんですよ。その理由としては、狭いコミュニティにずっといるっていうことと、HIVの存在についてそこまで知らなかったりとか、自分がかからないと思っている現状があって、あるニューハーフの女の子が、ゴムをつけずにやってしまっって、HIVになったかもとすごく心配になってしまったんですけど、病院にかかって検査をしてっていうこととして、ただ、知識がないので、その子は、ネットで全部調べたけど、それも本当かどうか分からない感じの情報で、でも、つながる場所がない、って実際に言っていて、資料とかもどこで集めたらいいかもわからないし、自分がニューハーフということが受け入れてもらえるのか、社会的に、ですね。っていう、風俗をしているスティグマだったりとか、ニューハーフっていう二重とか三重の壁を理解してくれるのかな、っていうところとかも言ったりしていて、性の健康っていうところは、あまり考えてないことが多いですね。

(コンドーム使用については、どういう風になっているんですか、お店で明示しているのか、それぞれに任せているのか)それぞれに任せてますね。裏引きをほとんどの子がしてるので。(結構そういうの厳しいっていうけど)お店公認してるんですよ、それ。それで、お客さんひっぱってくれば別にいいんで。あとは自己責任で。店外で、お店を通さずにやるのも自己責任だし、お金をもらうのも自己責任だけでも、ていうことはちゃんとやっている。

(もしかしたら、コンドームを比較的使わない人もいたりするかもしれない?)そうですね。で、中出ししてる人もいたりとかしていて、やっぱり圧倒的にニューハーフの需要って高くて、お金持ちの人にすごいので、そのときに50万払うからゴムなしで中出しさせてく

れとか、ざらにあるので。

(タチニーズが高い、だから残してる人が多いって話だけど、そういうときはどうなんだろうね。)女の子によって全然違っていて、それって性別違和感ともリンクしてくるんですけど、違和が強い子たちは、自分のあるものを勃起させて挿入させるっていうのは嫌悪感があるので、ウケだけしかできませんということにしていって、ただ、カマグラという勃起薬を飲んで勃起をさせて挿入するというのがほとんどですね。そこでもやはり売れ筋が変わってくるので、両方できる人の方が売れるっていう。

(基本性別違和がある人がタチをやるのはメンタル的にしんどくなったりするだろうね)メンタルは圧倒的に悪い人が多いんですよ。薬使ってる人もいますし。常に不安定なので、精神薬を飲んで過ごしてる人とか。アルコール飲みすぎて、アル中になって救急車で運ばれて、とか、メンタルも結構悪いんですよ。

(HIV/STI等への情報は少ないってことですよ)圧倒的にリソースの少なさっていうのもありますし、あとお店を経営している人が、トップがそういう啓発をしたいと思っていないことが多いので、(店を通してのアクセスが難しいってことだよ)なので、その壁ってすごくあるなって思いますね。

(健康情報のページをつくったとして、そこにどう辿りつくかということですけど)ニューハーフ業界ってすごく狭いので、ヘルスで有名な子、長くなてずっとやってる子が、こういう風に性の健康に興味があって、告知をしてくれるとなると話が変わってくると思うんですよね。結構縦社会なんで。その中にいるキーパーソンをつかまえて、その人が軸で、モデルじゃないですけど、やってもらうというのは結構大きいですよ。(でも、お店に所属すると店との関係が)そうですね。あと、彼女たちにメリットがないと、やっぱり動かないので。

[SWの仕事の変遷について]AVに出たけど、やっぱりずっと風俗、ヘルス嬢続けてる子とかが、多いですね。あとは、この店舗だけじゃなくて、なんかヘルス業界って、たぶん、普通の風俗嬢とは違って、みんな出稼ぎに行くんですよ。で、すごい全国にまわるんですよ。で、変な話、1週間ずっと労働していて、稼いで、で、次の、まあ、1週間経ったら次の福岡行きます、とか、で、また名古屋に戻ってきますとかいうのを、というのを繰り返して、で、店も公認している。本籍置ける店も公認している、みたいな。というところあります。(それは移動したほうが稼ぎやすいからということなのかな?)そうですね。そういうので、結構定期的に行ってる子たちとかもいますね。

(健康情報サイトをつくるときに、STI、HIVについてのせるとしても、他にトランス全般に必要な情報ってどういうのが)ホルモン療法の副作用とかもちゃんと載せたほうがよくて、免疫が低下するとか、血栓症になりやすいですとか。喫煙率もすごく高いので、喫煙、飲酒が、そこらへんはきちんと書いて、定期的な検査をしましょう、と。

あとは、ほんと、メンタルヘルスの調査をしたほうが、いいと思ってですね。ほんと彼女たち、結構恋愛が優先順位が高くて、で、そのたぶん承認欲求とかすごくて、で、やっぱり仕事も体つかったりとか、精神的にやっぱりくる仕事なので、そういう時に誰かに愛されたいとか、(そうだよ)そういうのが大きいしね、(若いし)そうなんです、で、出会いがないから、お店のお客に手を出しちゃって、という子が多いんですよ。ほとんどがそういう子で、まあ、トラブルになっちゃったりするんですけど、ただ、自殺まで発展しちゃうんですよ。(あ、そう)結構、メンタル低下とか自死につながりやすい要因が、恋愛で、話を聞いていると、何回も自殺をしていて、その要因が失恋とか、理解してもらえないけど、自分は子供を産みたいとか、一度でいいから結婚したいとか、

やっぱり闇は深くて、どんなにきれいになっても、や

っぱりトランスであることは隠しきれないので、この間もやっぱ、女の子が歌舞伎町歩いていておかまって言われたりとか、急に、お客さんの中にも、なんか今の時代なので、結構腹いせみたいな感じで、予約をしてくれる人がいるんですよ(えー、いやだね)で、なんかすごい客に変なこととか、ぼろくそ言われて半泣きで帰ってくる子とか、(きついいね)なんか八つ当たりされてもいいと思われていて、そういうのは、ありますね。

でも、良いこととしては、やっぱりニューハーフ同士でつながっていると、まあ、結構同じ道を辿る人が多いので、胸を入れたときに、シリコンを硬くならないようにもまきやいけないとか、そういうアドバイスを先輩たちがしてくれるので、そこで知識を得ていくみたいな。

(その中では提供されない社会福祉的なものが、どう外でどう準備されるっていうのが大きな課題ってことだよ)そうそう、結局住む家だって、自分自身で借りれないので、誰かの名前を借りて借りるとか、それはたぶん、一般的な風俗もそうだと思うんですけど、やっぱりトランスであるということで大家さんから断られたりとか、

(体を変えていないから、性別が移行できないということだもんね)はい。で、いくらお金を持っていたとしても、やっぱり大家さんの判断とか、その不動産屋の判断になっちゃうので、入れない子とか。

**to-I さん**

<立場>

40代・トランス男性(性別移行済)／(現)派遣型ヘルスの経営に携わっている

<経歴等>

普段の生活では男性として生活。これまでさまざまな風俗営業店や性風俗関連特殊営業店のスタッフを経験。

<インタビュー内容(抜粋)>

(ソープランド、トランスのいいましたか?)ソープランドは難しいんですよね。面だって出せないんですよ。なんで、わからないっちゃわからないです。ただいるという噂は。性転換したニューハーフさんがいるって聞いたことがあるんですけど。(本当に完全に移行した人ということですよ?)ただやっぱり、ソープランドは本番行為があるお店なので、お客様に知らない、知らせられないというか、なんで、女の子として雇っている。だから絶対洩れないんですよ。(そうなんですか)洩れないです、洩れないです。

[ニューハーフのキャストの人とやりとりする大変さについて]まあ、たぶんわかると思うんですけど、結構、ニューハーフの風俗嬢って我が強いというか、すごく大変なので、やっぱりストレスでね。やっぱり死んじゃった子もいるんで。HIVになってはないけど、なったという噂がお店とかにまわったりとかで、それで、今回、HIVのもので、ちょっといいかなっていう。[現状を]知ってもらえればっていう。

[コンドーム使用について]でも、だいたいハスキンつけてると思います。生はないですよ。地方でも。未経験の子でなければ、たぶん、ないかなあ、って。よっぽどじゃないと。だから、もしやるとしたら、お金をもらってる。オプションとして、生でやる代わりについていうのは、中にはないことはない可能性はありますけど。(基本、印象としてはみんな気をつけてる感じですか?)

[検査に関連して]そうですね。ただ、性病検査はしないですよ。彼女たちね。(本人たちに任せてるってことですよ?)うちのお店は、させてるんですよ。ソープランドは、女の子ですけど、性病検査をしてからじゃないと入店ができないんですよ。それはやっぱりすごく高いんですよ、1万、2万、セットでやると、なんで、うちのお店だと、性病検査は必ずさせる、その代わり、最初の性病の検査って項目がすごく種類多くしてるんで、それはお店持ち、店で払うからま

ず検査をしてください、で、だいた在籍十人くらいいるんですけど、誰一人今まで性病検査をしたことがないっていう。未経験の子とかも、いきずりの人と遊ぶことも結構あるという話をきくんですけど、で、性病検査は?っていうと、したことがない、っていう。なんかすごいなあ、って思っ

(とりあえず何も症状が出てないから?)たぶん、高いからなんでしょうね、高いのと、ニューハーフのヘルス嬢とかの話をきくと、言い方悪いけど、HIVというイメージが、そのゲイの人っていうイメージが強いから、結局、サイトで見ても、ゲイの駆け込み寺じゃないですけど、やっぱ、ゲイの写真が載っていて、エイズ検査無料とかっていうのが出てるじゃないですか。そうなるから、たぶん、ニューハーフの中の性病検査って、どちらかというか、HIVというよりも喉クラとか、淋病とかそっちのほうをメインにした検査。

(HIVはあまり心配もしていない?)心配していない人が多いですね。で、聞くと、ゴムつけてるからっていうんですけど、でも、結局、ゴムつけてもなるひとはなるじゃないですか。確率すごい少ないとしても。(オーラルセックスではコンドーム使わない?)はい。なおかつお客さんがゲイじゃないっていうのが、強いから。心配いらないんだけど、でも、経営者側からすると、それってすごくリスクがデカくて、行きずりの人が、もし、ま、変な話、この辺だと、[ハッテンバが]上野って結構多いじゃないですか。仮に映画館で、じゃあ、勢いで生でやられてって、それで知らず知らずにお店に入って、検査しないで、またお客さんに接客して、仮にうつちゃってってなると、(仕事でっていうよりプライベートでって)、プライベートで、女装。上野、ほんと多いですよ。(そうみたいですね)上野はすごく多い。映画館も女装が多いって。

(とすると性的ネットワークも結構ゲイとかぶってる)そう、そうですね。なんで、なかなか、今のニューハーフさん、女装してる方、多いじゃないですか、若い子。そういうところ不安ですよ。雇ってるほうが。

(そこで働いてる人たちは、基本、性別移行はしていない?)どちらかというと女装に近い子が多いですね。(いわゆる男の娘よりはフルタイム?)そうそう、そうですね。

[インタビューを受けた動機について]風俗、ニューハーフの風俗って、なかなか肩身の狭いというか、知らされてない人多いんで、ましてや裏のほう、だから、それを知ってもらえて、何か改善してね、改善できるような組織の方だったらなあ、と。

[ワーカーの人が健康情報を得られるサイトづくりに関して]難しいですよ。なんか、なんででしょう。普通の一般の風俗さんだと、例えば、HIVは別としても風俗店に何かポスターがあったりとか、相談電話とか相談ラインとかってというのは絶対やったほうがいいですよ。おそらく、ニューハーフって、基本的にサイトをみないというか。(そうなんですか?)LGBTというものに興味がないんで、たとえば、ニューハーフ、風俗、ホストとかググったときにそれが出てきたらみると思うんです。ただ、LGBT エイズ 性病検査 ってなっちゃうと、出てこないというか、彼女たちって、まずそういう情報にうとい、みないんで。だから、スキンをつけない、スキンつけない、アナルセックスしたらエイズになるとかっていうのは、簡単にしか。

風俗しかできない子っていうのは、基本的にニューハーフも女の子も、ちょっと普通の方とは違う脳味噌なので、じゃあ、何かHIVのサイトをつくらうって言って、それを彼女たちがそれを見るかっていうと、それを見ないって思ってるんですよ。

(健康自体に関心がない?)そう関心がないんですよ。そもそも、彼女たち、興味あるのはホスト、ブランド、金くらいです。だから、変な話、僕が、東京とうで、ライブさんだったり、キュートさんだったり大手の風俗店ありますが、ほとんど性病検査していないですよ。[他のお店での検査について]お店でどれくらいやってるー?って、やっていない、って、お店何にも言われてないから、自分で二ヶ月に一回のペースで

やってるよー、という子もいれば、いやー、私やってない、言われてないからやってない、っていう子が多いので。

で、ゲイの方って、売り専だったりとか、は、結構、ゲイの方そういうの結構しっかりしてるじゃないですか、どっちかという、サイトとか、(でも、サイトは見るなゲイは)。で、二丁目のサイトとかみると、HIVのバナーとかあったりとかするので、で、僕も求人でゲイサイト結構使ってるんですけど、やっぱりみると、そういう系に流れるような仕組みになっているというか、HIVに。クリックすると、HIV関連出てきたりとかするんで、でもニューハーフって、ニューハーフのヘルス、クリックしたところで、HIVとか性病に関しては全く。検査してますよって貼られてるだけで、お客さんから安全ですよ、っていう話だけで、キャスト側の性病検査の、あれがないんですよ。だから、そこをちょっと、僕はやってほしいです。

(ということはお店側からどうはたらきかけるか)そういうことですね。なので、でもお店側はお金を払うということはまずないので、なんか、例えば基本的に待機所ってあるじゃないですか。そこに貼ってもらう。

(私のイメージだと、こう、病気の話は避けたがるのかなお店って)やりますよ。あの一、うん、大手ほど、やるんじゃないですか。だいたい大手のところで、だいたいそれに対してお金が発生するとなると、ケチなのでしないですけど、普通に貼ってください、政治のポスターじゃないですけど、貼ってくださいっていうと張りますよね。待機するところとかに貼って。ちょっとなんかおちんちにイボができたから心配で、て思っても、彼女たちあんまりそこまで病気に、病院に行こうという行動しないんで、じゃ、そこにポスターがあったら、知識得ようと思って...僕が絶対性風俗は[そういう方法が]いいと思います。

送りつけちゃうといいんじゃないですか?でも、たぶん、別に問題ないと思いますよ。お金がかかる、お互

いお金がかかるんだったら、電話して営業してってならないと無理ですけど、普通にLGBT協会じゃないですけど、送れば、貼ってください、って貼るかた多いと思うんですけどね。

**tw-Jさん:**

＜立場＞

30代・トランス男性(ホルモン治療・適合手術等は受けていない)／派遣型ヘルスのSW(副業)

＜経歴等＞

派遣型ヘルスで働いて1年ほど。最初の店は、MtFやボーイッシュな女の子のみ。そこに籍は残っているが、新しい店に登録して働き始めて1ヶ月ほど。「性別違和」は物心ついたときから。

＜インタビュー内容(抜粋)＞

(今の仕事はどういう形ですか)今は、一応、個人事業としてマッサージを。あとスーパーで、アルバイトをかけもちでやっていて、それで風俗もやっている。

(マッサージと性風俗二つやられてる?) あ、そうです、そうです。マッサージは性風俗ではない、普通のマッサージです

(性風俗のお客さんはミックスですか?)そうですね。キャストもいろんな人がいて、お客様もどんな人もいいですよ、みたいな感じで。(いろんな人がっていうのは、一応みなトランスですか)基本はニューハーフなんですけど、その中で自分はFtMキャスト。(メインはニューハーフ?)メインは、FtMは二人しかいないです。ニューハーフの人は10人くらいかな。

前のところは、FtMとかボーイッシュの女の子、だけという感じのお店で、ニューハーフは別のお店でっていう感じで、同じ母体でやっていたんですけど。(そこは完全にやめて移動したんですか?)一応在籍はまだあるんですけど。(性風俗自体は)一年ぐらいですね。[客は]ほとんど男性で、一回なんかツイッターを見てきてくれた方が、なんか自分とほとんど反対みたいな、SOGIなんですけどって言ってきてくれたんで

すけど、その人は、まあ、MtXっていうんですかね、みたいな。

(他のキャストと話したりすることはありますか?)あー、全然あったことなかったんですよ。(待機部屋みたいなのはなかった?)そうですね、基本的には直接家から行って、あの終わったら、直接精算にだけ寄って、そこにはニューハーフさんのキャストさんはいたんですけど、同じ店のそのボーイッシュとか、FtMの子は全然会ったことないですね。

(ここでおこなわれる性行為というのはどういうものがオーラルですね。(挿入行為みたいなのもあったりします?)いやー、それは、まあ、禁止になっています。デリなんで。(禁止だけど、相手が求めることはありますか?)は、ありますね(笑)。(それは結構求められます?)そうですね、だいたい男性の客、方は、そうですね、いい?みたいに言ってきますね

(体の状態についてもきいてもいいですか、性別移行というのはどれくらいの感じで)ホルモンだけをやっていて手術はまったくしてないですね。(結構、強引な人とかもいます)あー、ひとりなんか何も言わずに入れてこようとするという人がいまして。えー、ちょっとちょっと待ってみたいな。(でも、断れば、済む感じですか?)まあ、そうですね。(ほんと無理やりみたいなのは?)それはなかったですけどね。

(オーラルセックスでコンドーム使うことありますか?)あー、ないですね。(お客さんがつけてということもないですか?)そうですね、ないですね。

(性感染症について心配になることとかありました?)うーん、そうですね、多少ありましたね。(でも、そんなにもでもない?)はい。(HIVとかについて心配になることは?)まあ、ちょっと、ちらっというの、頭のなかにはありますけども、けど、んー、基本は挿入はしないっていうのはありますけどね。

(心配になったとき、検査受けたりしますか?)検査は

受けてます。キットを送ってもらって、それで、ネットで  
みる感じにしましたね、どっちか選べたんですけど、  
ネットか郵送で結果を送ってくれる。

(今まで性感染症かなあ、という症状があつて、診察  
に行くことはありました?)特に今のところはないと思う  
ので。(もし行くとしたら、どこに行きます?)婦人科行  
きづらいですよ。でも、ま、婦人科なのかなあ。(ホ  
ルモン治療はどういうところ?)ホルモンは、今は専  
門の、ジェンダークリニックというかそういうところで、  
ですね。(そういうところでは、何か性器とかに何か気  
になることがあつたときに見てくれたりしそうですか?)  
あー、相談すれば診てくれるのかな、と思うんですけ  
ど、産婦人科でもあるので、一応、その先生は一応、  
その自分の病院はほとんどホルモン打つためだけ  
に、週一だけ開けてるんで。結構長いこと通ってるの  
でもし相談するんであれば、その先生が(一番)一番  
言いやすいかな、と思いますね。

(性感染症じゃなくても、体調が悪い時に病院に行  
く、というこきも気にはなったりしますか?)もう普  
通の病院はあんまり気にしなないです。普通に保険証  
だして、なんか、向こうもなんか全然何も言わないで  
すし。(今まで嫌な反応とも別になく)今まで、な...い  
.....ですね、あ、でも一回、歯医者で、なんか、その  
カルテかな、カルテが女性になってるんですけど、み  
たいな、感じで、言われて、それで合ってますと言っ  
たことがあります。でも、それは普通の対応ですから。

(トランスジェンダーの人が働く性風俗?で、何か必  
要だなあ、と思うことありますか?労働環境とか、性感  
感染症の情報とか)必要だと思うこと...うーん。なんだろ  
う。今のところは困ってない...ですね。うーん、まあ、  
その前のお店は結構検査受けてくださいねっていう  
のも言われなかったし、結構放置な感じでしたし、で  
も、今のお店はすごい気遣ってくれるんで。

トランスとして、あー、やっぱりあれかな、健康診断と  
かをちょっと受けるということは勇気がいるんで、で、

まあ、自分も正直受けてないんですけど。(それは一  
般的な人間ドック的なということですか?)そう、そうい  
う今は戸籍女性だから、女性のほうで行かなくちゃい  
けないんだろうけど、っていうのがあるんで、ちょっと。  
大学のときに一年に二回あつたんですけど、大学二  
年までは受けてたんですけど、やっぱりその、男子女  
子と振り分けられるんで、三年からホルモン打ちはじ  
めたんで、やっぱり知らない人だと、結構、その、ぱっ  
と見た目男子と見られることが増えてきたあたりから、  
ちょっと行きづらいなみたいなのが、ありますよね。

**tw-Kさん:**

<立場>

40代・女装(性自認は男性)／(現)派遣型ヘルスの  
SW(副業)

<経歴等>

ヘルスに登録して働き始めてまだ一ヶ月ほど。性別  
違和はない。5年ほど前に、客としてニューハーフの  
人に相手してもらったことがある。

<インタビュー内容(抜粋)>

(ご自身の性自認とか性自認に関係する性別表現に  
対しては、ご自分のことをどのように?)実はもう普通  
に、男性で、昼の仕事は男性としてやってるので...  
(性別違和は?)違和は、な、い...とは思います。は  
い、うん。(男性として生活すること自体には)苦痛は  
ないです。普通に男性トイレも使えるし、はい。性対  
象も女の子と付き合っていたこともあるので、たぶん、  
どちらでもという形にはなる。

(では、性的指向はバイセクシュアル?でしょうか)バ  
イ...になります...ただ、いま、最近、女性とそういう行  
為していないので、正直、反応するか、自分で、今で  
はわかんないですね。(最近、主に男性と?仕事  
の関係もあつて?)仕事もありますし、もともと女装を  
始めてからやっぱり、もてるようになって、そういうので  
楽しくて。

(女装を始めたのはいつ頃くらいですか?)始めた...

のは、癖(へき)としては、物心ついたときから、もう中学生くらいから思春期で、あの、なんていうんですかね、普通なら男の子がいただくような女の子みてむらむらするとかじゃなくて、その、女の子の服に興味があって、それが着てみたいっていうのがあって、という感じだったんですけど。中学、高校ぐらいにはこっそり部屋でやる感じになっていて。

(中学とかだと男子の制服を着るのには抵抗なく?)  
特にそういうのはなかったですね。それで、だから、ほんと趣味、コスプレの一貫っていうか、趣味って感じ。

(女装して、セックスワークという広いくりかたでいいんですけども、が始まったのはいつぐらいですか)まだ、ほんと一ヶ月くらい。派遣、デリバリーで。

(はじめようと思っきっかけを教えてください  
か?)今の昼の仕事の収入が物足りないというもありますし、単純に好きなので、あの一、結局仕事以前にももう、いわゆる発展場っていうんですか、ああいうところにはよく出向いて、遊んでたので、まあ、これがお金になるならいいなあ、ぐらいの軽い気持ちでいますから。

(ハッテン場というのはどういうところの?)サウナといいですか、池袋にもあるんですが、ビデオボックスとか、あとは、マンションの一室をその変えたのがあって、入場料を払って、そういう人たちが集まって、各部屋っていうんですかね。女装の人が集まるところが、何箇所か都内にはあるんですけど、女装の人と女装好きの人が集まってっていう。(映画館はよく女装の人も来ると)映画館も聞いたことがあります。行ったことないですけど。そういうところは入場料だけを払うってことですね。その中で、お客さんとのやりとりでお金とかはなく)それは規則的にダメってことになっていて、入場料と、あとドリンクが出るので、お酒とか買って、まあ、談話室みたいなところで、別にHな行為しなくても、ただ談話室でおしゃべりしてって人もいますし。

(ご存知のところ、東京で何箇所ぐらいありますか?)  
うーんと、新宿、池袋、ま、大塚にもあるですけど、はい、今なくなっちゃった中野にも、、ええ、また再開したみたいなんですけど、ただ、ハッテン行為ができない、ただの、サロンみたいな感じなので、ほんとに四つ...で、浅草に大きなサウナの、御用邸というところがあって、ゲイの方の本当はサウナだったんだけど、女装も行けってというところが浅草にあるんですけど、なので、六つ、七つぐらいだと思います。(その浅草のっていうのは...)Aってわかります?(知ってます)Aは、女装も、あそこは、ただガウン着るので、女装って言っても。(ゲイとかバイセクシュアル男性と同じ場所を共有する形ですか?)そうですね。はい。(ガウン着るといっても一応お化粧して)そうですね、メイクして、ただ、その、ゲイの方専用ルームもあって、そっちは行っちゃだめみたい。やっぱりゲイと女装の、その、棲み分けというか、壁みたいのが。

(そうなんですね、そっか、たぶん@浅草24くらいですよね、他の大きなサウナ、ハッテンサウナ?ゲイ、バイセクシュアル男性向けのってあるけれども、女装の人が比較的入りやすいのはそこ、だけですよね。

(あんまりバーは行くことはないですか?)バーは、まあ、ミックスバーというところには行きますけど、二丁目で飲んでますけど。

(お店に入る以前に、個人的にサポとみたいなことでやられたことがあります?)お金をいただいたことはたぶんないですね。あの一、まあ、ご飯おごってもらうとか、ホテル代とかそういうのはありますが、たとえば1万円出すからさせてくれとか、一切お金は...私も楽しむために行ってるので。(じゃあ、お金になるならいい、そういうやり方があるんだって意識したのは...)もともとあったけど、お金をとっていいのかなって。需要とかそういうのも考えて、申し訳ないっていう気持ちになって。

(始めてみて、どんな印象ですか?)日も浅いし、まだ

お客さんもとってないので、少ないので、ただ楽しかったです。正直、これでいただけるんだっていう、発展場でやって楽しんだことをそのまま披露するとうか、で、それで普通にお客さんも喜んでくれるし、よかった、というのも言っていて、これで全然いいんだっていう、安心は。

(性行為の内容について聞きたいんですけども、オーラルセックスと、挿入行為も?)そうですね、はい、一応、ゴムつけての、挿入もありますし。(どっち側か聞いてもいいですか)私基本受けは受けなので。(そのときコンドームは相手も嫌がることなく)そうですね、はい。

(ハッテン場はどんな感じですか?)うーんと、基本的にはゴムつけるんですけど、あれって痛いんですよ、。こすれて痛いので、個人的には生のほうが好きなので、お互いの同意があればゴムなしってことも。(基本受けで)受けでずっと、はい。

(不安になることもあります?その、HIVだけではなくて、その他の性感染症とかも)まー、うん、ゼロではないんですけども、正直、あんまりない、あの、ほんとに数パーセント、不安のほうは、うん、なってもいいやって言っちゃうとあれなんですけど、ちょっと刹那的な、(恐怖感はない?)、うん、まあ、なっても、別に家庭持ってるわけでもないし、なんかこれからこどもつくろうっていうこともないので、なんかあまりないんですよ、ね、言い方悪いけど、いつ死んでもいいみたいな、(感染の可能性がある行為があっても、すごい不安になったりとかあまりない?)そうですね、ま、ただ、人にうつしちゃうっていう、その(そうか)、あれだけはありますけど。

(HIVについては結構情報とかを何かでみたりとかします?そんなでもない?)自分で検索したりとか、検索したりとかはないです。ただ、テレビとかでやってたら、ちょっと気になってみたりとかは、ありますけど。

(検査とかは受けたりします? HIVとか他の性感染症とか)今のお店に入るときに、性感染症、性病のやつは一応受けて、全部陰性でしたけども、(HIVとかはあまり受けることはない?)そうですね。

(男性としての性自認ということもあり、特に治療、性別かわる治療っていうのはなく?)とかも、はい、なんか、興味というか、一応調べてみると、わりとなんか、体調面とかメンタルにきたりとかっていうのもあったり、そこまでの覚悟はないといえますか。(性別に違和がなくても、たとえば豊胸手術とか、される方もいらっしゃると思いますけど、そういうのも全然?)無くは、興味としては。この年まできちゃうと、もうなんか、そこまで、ほんとし、若、二十代、三十代の頃に、いまぐらいの生活してたら、もしかしたら勢いで、やっちゃったかもしれないと思いますけど(自分としては女性の格好をすることで)そうですね。満たされるとうか。

(体に変更がないということは、もし、性感染症の心配があって、たとえば病院にいかなければいけないとかいうときも気兼ねはない)そうですね。(今まで、性感染症かも、ということもなく)ないですね。

(トランスジェンダーとか、まあ、女装の人が働く性産業のことも初心者で様子もわからない感じですか)あ、そう、お客さんとして、愛知に住んでいた頃に、もう興味がものすごく一番あった頃で、お客さんとしてニューハーフさんと遊んだことは、あるです(それは、いつですか?)何年前だろう、五年ぐらい前。(そうか、そのときの印象とか)まあ、楽しかったけど、ん、楽しかったは楽しかった。(行為としては)結局、その頃に、まだ結局、あの、自分でこうする、自慰としての、あの、オナニーはあったんですけど、実際に男性を受け入れたことがなかったので、どうなんだろう、される側はどうなんだろうというのがすごいあって、行って、お願いして、こっちが受けの立場、よく逆アサって言い方(言い方しますね)をされに行って、意外といけるんだ、されても大丈夫なんだっていうのがあって、はい。

(そのときに、いわゆるゲイ・バイセクシュアル男性向けはなくて、ニューハーフとこにいったのは)そうですね、あの調べたんです。そしたら男性を、言い方あれですけど、男性を買った方が安かったんです、正直、自分、なんかみたら全然ゲイ向けの方が安くて、つてもあったんですけど、そういう人、例えば私が女装して、そういう人をゆったときにどういう反応するんだろうというのがこわくて、だいたい相手が女装さんとかだったら、まあ、わかってるわけなんで、で、興味あります、されてみたいんです、っていって、やっぱり最初はしてもらおうという感じで。

(セックスワークもするようになって、ということでのご自分の心境の変化はどんな感じですか)まあ、楽、しい、ですね、やっぱ、これで、ちょっと楽しみが増えたって言い方になっちゃうとあれですけど、うん、わりとその、ここ、昼の仕事も今すごいやりたくなくて、やりたくなくてしょうがなくて、なので、まあ、正直その、今、そのこっちの仕事で稼げるなら、やめてもいいかな、くらいなんですけど、なんで、今、こっちの仕事楽しくて、努力できてる、努力をする楽しみというか、その今、お客さん呼ぶために、写メとったりとかいろいろっていうのも、楽しんでやれますし。

(ご自身のまわりでもセックスワークされている女装の方とかいたりします?)あー、いないですねー。うん、わりと年齢層高めの方とつながっていることが多いので、やっぱ、若い子のほうが多いと思うんですけども。(まだ始まったばかりなので、また一年後とかにおうかがいしてどんな感じだったもうかがえたら)そうですね

## D. 考察

### 1. 啓発の立案

今後、啓発を実施していく中で考察を行っていく。

### 2. パネルディスカッション開催による共通認識の共有

浅沼が発表したアンケート調査では、約半数が体調不良時の医療機関の受診をためらった経験があると回答しており、砂川がインタビュー調査で指摘して

いる内容と重なる。

前者は、SW に限らない調査であるが、TG-SW を対象としたこの分担研究でも、こうした TG 全体の調査や活動を参考にすると同時に、TG 全体に向けた調査、活動を取り入れていく必要がある。なぜなら、TG-SW が受検、受診で経験する問題の多くが、TG であること(そのことへの社会の無理解)そのものに起因していることがある。また、TG-SW はスティグマ化されやすい属性を併せ持つため、TG-SW のみを対象とした調査では量的、質的いずれも多くの回答者を得ることは容易でない。そして、後に SW を始めることになる者が、その前に健康情報を得ておくことで、より安全な形で SW に従事できるようになるからである。

アンケートの調査からは、医療機関に配慮して欲しいことに関しての回答が得られており、こうした意見を医療機関に伝え実現していくことが、TG の、ひいては TG-SW の受検、受診の障壁を減らしていくことにつながるだろう。また、荒木が「安心安全な居場所」に必要な条件として述べたことも、コミュニティスペースなどに限らず、医療、保健の現場でも必要なものである。

TG-SW に関する問題の今後の検討課題として、砂川は、HIV 陽性だがウイルス量が検出限界値以下だった SW の仕事の継続のこと、畑野は外国から来て街頭で客引きをおこなっている TG-SW の人たちへのアクセスを挙げており、どちらもこれまで議論されてこなかったテーマだけに重要な指摘と言えるだろう。

全体を通して、TG を対象とした HIV 等の啓発活動の欠如、集まれる場所の少なさについて強調される内容であったが、中でも、宮田は、エイズ予防指針にも TG に関することが入っていないことの問題をとりあげ、MSM に包含されているものの、実態としては TG 向けの経緯が欠如していることを指摘している。そして、SW に向けた活動や研究を、これまで長らくおこなわれてきた MSM 向けのものと同時にやっていくことの意義を語った。

### 3. TG-SW のインタビュー調査

今回のインタビュー協力者は4名と少人数であったが、TG-SWの働く店のスタッフと経営に携わっている者(二人の立場を総称する際には店側と呼ぶ)にも協力が得られたことで、TG-SWの置かれている環境を多角的に捉え、「HIV検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」(2017-2019年度)のインタビュー内容の確認をおこなうとともに、さらに理解を深めることが可能となった。

店側の二人の関わる店舗は異なるエリアにあり、「高級」イメージを売りにしているニューハーフ専門の店舗と、より多様なキャストを抱える店舗という大きな違いがあるが、重要な点で共通する語りが聞かれた。

それは、TG向けのHIVやSTI情報の不足、HIVに対する身近感の無さ、健康情報への関心の低さ、メンタルヘルスの問題である。当然ながら、情報の不足が、身近感の無さや関心の低さを下支えている面はあるだろう。また、メンタルヘルスに問題を抱えていることが、自らの健康に関心を持つことを妨げている可能性も高い。

よって、TG-SWが、HIV/STIに関する情報を得て、自ら予防行動を選択し、必要なときに診療を受ける環境づくりには、TGを明確にターゲットとした情報づくりが必要不可欠である。同時にメンタルヘルスも含めた総合的な視点で健康をとらえねばならない。

だが、店側の二人は、健康への関心への低さなどから、TG-SWがそうした情報に主体的にアクセスすることが非常に少ない現状を語っており、手法については大きな課題が残る。その困難性に関しては両者の意見は一致しているが、その一方で、店側に協力を求めることについては、意見が異なる。ドライバーのts-Hは、協力を得ることは難しいと感じており、経営側にいるto-Iは、店に送付すれば待機室などにポスターを貼ってもらうことは可能であり、断るところはないと推測する。ここで判断が分かれるのは、それぞれの店舗の趣向や経営体制の違いの大きさによるものと思われるが、to-Iは、ある役割(プライバシー保護の観点からインタビューへの記載、職種の明示は避けている)から、TG-SWが働く30-40軒の店舗と

のやりとりの経験があることから、有用な提案と言える

to-Iとは、インタビュー後も関係が継続しており、メールのやりとりでHIV/STIに関係することなどの質問を受けたりしている。中には、店舗を経営する側の立場から、SWを採用する際には、HIVを含めた性感染症の検査の証明書の提示が欲しいという相談もあった。SWの人権を守る立場から、特に、感染すると完治はしないHIVに関しての証明書の提示には問題があると考えることを伝えたが、店側がHIVに関して意識を高める場合に、まず導入したい対応策であることから、この研究班で今後啓発を進めていく中で、そのことに対してどのような立場をとるべきか検討する必要があると感じられた。

SWのtw-J、tw-Kのインタビューからは、これまで指摘してきたことではあるが、TG-SWの多様性が一層明確になった。tw-Jは、曖昧な形で強いものではなかったが、物心ついた頃から性別への違和感を感じていたトランス男性である。ホルモン治療を受けているが、手術は受けていない。彼は、性感染症を気にしてもおり、検査も受けているという。

一方、tw-Kは、性別違和はなく、出生時の性別である男性として生活しながら、女装をしてセックスワークをしている。ホルモン治療も受けていない。tw-Kは、セックスワークを始めて間もないが、それ以前から女装者向けの「ハッテン場」(女装者向けのもの、MSM向けだが女装者も入れるサウナ)には行くことがあった。ハッテン場ではコンドームを使用しないアナルセックスを経験することもあるが、これまで症状が出たこともないことから性感染症については心配していないという。また、HIVに関する検査も受けたことはないが、それに関しては、「刹那的」な面があることを理由として語っており、広い意味ではやはりメンタルの問題との関連を感じさせるものであった。しかし、今のところセックスワークを楽しんでいると感じ、やりがいを見出している言葉も聞かれた。

また、医療へのアクセスに関して、体は変更してなくとも性別移行を果たして生活しているtw-Jは、「普通の病院はあんまり気にしない」ものの、性感染症の可能性があったときについて尋ねた質問では、受診

先について逡巡し、インタビュアーがホルモン治療を受けているクリニックについて尋ねることで、産婦人科医がやっているそのクリニックでの診療を考えている。彼は、受診先の候補を考えついた流れになったが、パネルディスカッションでも触れたように、TGの医療アクセスの問題、特に性感染症の受診に関する問題が示された。また、彼は、健康診断を受けることの難しさにも語っている。

## E. 結論

具体的な啓発の方法として、今後、TG 向けに次の三つを行っていくことが確認された。①健康に関する情報を中心としたサイトの制作 ②TG が集まる場所に置いてもらう印刷物(ニューズペーパーなど)の制作 ③TG ではない人も来訪し交流できる集まりの開催。

上記の啓発を進めていくために、パネルディスカッションという形で、これまで行われてきたトランスジェンダーに関する調査、研究、活動の結果／経験を発表し、今後、TG の性産業従事者や事業者等に対する介入を進める上で必要な共通認識の共有を行った。

全体を通して、TG を対象とした HIV 等の啓発活動の欠如、集まれる場所の少なさへの言及が多く、自身のあり方が否定されず、TG 向けながらも多様な人が集まる「安心安全な居場所」の必要性が指摘された。また、量的調査、質的調査からも、医療機関を受診するにあたって TG であることによる障壁が指摘され、医療機関に、TG への理解と配慮の必要性が確認された。

また、HIV のウイルス量が検出限界値以下になった HIV 陽性の SW に関する議論や、外国から来た TG-SW の状況の把握という課題も出された。

インタビュー調査では、店舗スタッフ(1名)や経営者(1名)のほか、SWとしてトランス男性(1名)、女装者(1名)の協力を得ることで、TG-SW の置かれている環境を多角的に捉えることができた。店側の協力者からは、共通して、TG 向けの HIV や STI 情報の不足、HIV に対する身近感の無さ、健康情報への関心の低さ、メンタルヘルスの問題が語られた。よっ

て、TG-SW が、HIV/STI に関する情報を得て、自ら予防行動を選択し、必要なときに診療を受ける環境づくりには、TG を明確にターゲットとした情報づくりが必要であり、同時にメンタルヘルスも含めた総合的な視点で健康をとらえねばならない。

なお、本研究インタビューは、目的である啓発を意識していることもあり、インタビュー後の関係継続も図っている。経営者である協力者からは、店舗を経営する側の立場からの、SW の HIV を含めた性感染症の検査の証明書の提示に関する相談があり、この研究班で今後啓発を進めていく中で、そのことに対する立場を検討する必要があることに気づかされる結果となった。

SW 二人のインタビューからは、TG-SW の多様性が一層明確になった。一方は、物心ついた頃から漠然とした性別への違和感を感じていたトランス男性であり、ホルモン治療を受けているが、手術は受けていない。もう一方は、性別違和はなく、出生時の性別である男性として生活しながら、女装をしてセックスワークをしている。

後者は、ハッテン場ではコンドームを使用しないアナルセックスを経験することもあるや、特に何も症状が出たことがないことから、HIV や STI の検査を受けたことがないこと、そうした自分の気持ちの背景として「刹那的」な面があることなどを率直に語ってくれた。その経験は、SW のセクシュアルヘルスを考えるとき、仕事だけでなくプライベートの性行為も視野に入れることの必要性を物語っている。

なお、来年度から啓発を実施していく上で重要なのは、TG 全体の調査や活動を参考にすると同時に、TG 全体に向けた調査、活動を取り入れていくことである。なぜならば、TG-SW が受検、受診で経験する問題の多くが、TG であること(そのことへの社会の無理解)そのものに起因していること、TG-SW はスティグマ化されやすい属性を併せ持つことため、TG-SW のみを対象とした調査では量的、質的いずれも多くの回答者を得ることは容易でないこと、そして、後に SW を始めることになる者が、その前に健康情報を得ておくことで、より安全な形で SW に従事できるように

なるからである。その上で、TG-SW の経験と、TG-SW に向けた情報を織り込んでいく必要がある。

## F.健康危険情報

特になし

## G.研究発表

1. 論文発表
2. 学会発表  
なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
2. 実用新案登録
3. その他  
なし

## 参考資料

- 1) Niven H, Jose H, Rawstorne P, Nathan S. 'They love us just the way they love a woman': gender identity, power and transactional sex between men who have sex with men and transgender women in Timor-Leste. *Cult Health Sex*. 2017; 7:1-15
- 2) Budhwani H, Hearld KR, Hasbun J, Charow R, Rosario S, Tillotson L, McGlaughlin E, Waters J. Transgender female sex workers' HIV knowledge, experienced stigma, and condom use in the Dominican Republic. *PLoS One*. 2017; 2:12(11)
- 3) Willie TC, Chakrapani V, White Hughto JM. Victimization and Human Immunodeficiency Virus-Related Risk Among Transgender Women in India: A Latent Profile Analysis. *Violence Gend*. 2017; 1:4(4):121-129
- 4) Fernández-López L, Reyes-Urueña J, Agustí C, Kustec T, Serdt M, Klavs I, Casabona J. The COBATEST network: monitoring and evaluation of HIV community-based practices in Europe, 2014-2016. *HIV Med*. 2018; 19 Suppl 1:21-26
- 5) Poteat, Ackerman, Diouf, Ceesay, Mothopeng, Odette KZ, Kouanda S, Ouedraogo HG, Simplicie A, Kouame A, Mnisi Z, Trapence G, van der Merwe LLA, Jumbe V, Baral S. HIV prevalence and behavioral and psychosocial factors among transgender women and cisgender men who have sex with men in 8 African countries: A cross-sectional analysis. *PLoS Med*. 2017; 7:14(11)
- 6) Crosby RA, Salazar LF, Hill B, Mena L. A comparison of HIV-risk behaviors between young black cisgender men who have sex with men and young black transgender women who have sex with men. *Int J STD AIDS*. 2018; Jan
- 7) 東優子, 2012, 『厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 個別施策層(とくに性風俗に係る人々・移住労働者)の HIV 感染予防対策とその介入効果に関する研究』平成 21～平成 23 年度総合研究報告書』

別紙 <質問票>

－まず、あなた自身についておうかがいします。－

問 1 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)

( ) 歳

問 2 あなたの居住地をお答えください。(○は1つ)

- |        |         |         |        |         |
|--------|---------|---------|--------|---------|
| 1 北海道  | 11 埼玉県  | 21 岐阜県  | 31 鳥取県 | 41 佐賀県  |
| 2 青森県  | 12 千葉県  | 22 静岡県  | 32 島根県 | 42 長崎県  |
| 3 岩手県  | 13 東京都  | 23 愛知県  | 33 岡山県 | 43 熊本県  |
| 4 宮城県  | 14 神奈川県 | 24 三重県  | 34 広島県 | 44 大分県  |
| 5 秋田県  | 15 新潟県  | 25 滋賀県  | 35 山口県 | 45 宮崎県  |
| 6 山形県  | 16 富山県  | 26 京都府  | 36 徳島県 | 46 鹿児島県 |
| 7 福島県  | 17 石川県  | 27 大阪府  | 37 香川県 | 47 沖縄県  |
| 8 茨城県  | 18 福井県  | 28 兵庫県  | 38 愛媛県 | 48 海外   |
| 9 栃木県  | 19 山梨県  | 29 奈良県  | 39 高知県 |         |
| 10 群馬県 | 20 長野県  | 30 和歌山県 | 40 福岡県 |         |

問 3 あなたは、現在、一人暮らしですか。単身赴任などで、平日だけ別の家で生活している場合は、より多く生活しているときの状況をおうかがいします。(○は1つ)

- 1 はい(一人暮らし)
- 2 いいえ
- 3 定住している家はない

問 4 あなたの現在の職業(立場)として、もっとも近いのは次のどれですか？ 学生の方は、働いている場合でも学生を選択して下さい。(○は1つ)

- 1 常勤(正規雇用)
- 2 常勤(非正規雇用)
- 3 パートタイマー
- 4 アルバイト
- 5 経営者
- 6 学生
- 7 その他( )
- 8 働いていない

問 5 あなたの現在の年収をお教えてください。(○は1つ)

- 1 200 万円未満
- 2 200-400 万円未満
- 3 400-600 万円未満
- 4 600-800 万円未満
- 5 800 万円以上
- 6 わからない

問 6 あなたの最終学歴をお答えください。在学中の方は、卒業見込みとしてお答えください。(○は1つ)

- 1 中学校
- 2 高等学校
- 3 専門学校
- 4 短大・高専
- 5 大学
- 6 大学院
- 7 その他 ( )

問 7 あなたが現在生活する上で主に使っている自身のジェンダー／セクシュアリティはどれですか？(○は1つ)

- 1 MtF/トランス女性
- 2 FtM/トランス男性
- 3 FtX
- 4 MtX
- 5 その他 ( )

問 8 あなたの性的指向はどれですか？(○は1つ)

- 1 ゲイ (男性同性愛者)
- 2 レズビアン (女性同性愛者)
- 3 バイセクシュアル (両性愛者)
- 4 パンセクシュアル (全性愛者)
- 5 A セクシュアル (無性愛者)
- 6 ヘテロセクシュアル (異性愛者)
- 7 わからない
- 8 その他 ( )

問 9 出生時に割り当てられた法的な性別について伺います。以下のどれが一番近いですか？（○は1つ）

- 1 違和感を覚えていて、現在生活する上で主に違う性別を使っている
- 2 違和感を覚えているが、現在生活する上で主にそのままの性別を使っている
- 3 違和感は覚えていない
- 4 よくわからない
- 5 答えたくない
- 6 その他（ ）

問 9-1 【問 9 で「1」または「2」と回答した人のみ】

出生時に割り当てられた法的性別に違和感を覚えている方に伺います。その違和感を覚えるようになったのは何歳ごろからですか？

（ ） 歳

問 10 あなたは今、下記に挙げたもののうち、何を経験していますか？（○はいくつでも）

- 2 GID/GD 診断のための精神科(ジェンダークリニック含む)への通院
- 3 ホルモン療法
- 4 SRS(性別適合手術)を検討している
- 5 部分的に手術をしたが、希望するすべての手術までは実施していない
- 6 希望するすべての手術を実施した
- 7 戸籍名を変更した
- 8 法律(戸籍)上の性別を変更した
- 9 その他（ ）

－HIV 感染症（エイズ）や他の性感染症（性病）、感染症に関する知識や意識についておうかがいします。－  
<基礎知識>

問 11 次にあげるエイズや一般の性感染症（性病）に関する情報のそれぞれについて「正しい」「正しくない」「わからない」のいずれかでお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

|                                                     | 正<br>し<br>い | 正<br>し<br>く<br>な<br>い | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い |
|-----------------------------------------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 最近、日本での HIV の感染経路は性行為によるものが最も多い                  | 1           | 2                     | 3                     |
| 2. HIV 感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症をコントロールできる病気となった   | 1           | 2                     | 3                     |
| 3. HIV に感染していても、適切な治療を行えば、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができる | 1           | 2                     | 3                     |

|                                                                  |   |   |   |
|------------------------------------------------------------------|---|---|---|
| 4. 通常の HIV 抗体検査（エイズ検査）では、HIV に感染してから 2～3 か月経過しないと感染しているかどうかわからない | 1 | 2 | 3 |
| 5. HIV 感染症はコンドームを性行為時に使用することで予防できる                               | 1 | 2 | 3 |
| 6. 性感染症（性病）に感染していると、HIV に感染しやすくなる                                | 1 | 2 | 3 |

\* HIV とはエイズの原因となるウィルスのことです。

問 12 過去 6 か月間に、以下の人と HIV やエイズ、性感染症について話したことがありますか？ 該当する人がいない場合は「いない」と回答してください。（○はそれぞれ 1 つ）

- |                                |      |      |       |
|--------------------------------|------|------|-------|
| （ア）友達や知り合いと・・・・・・・・・・・・・・・・    | 1 ある | 2 ない | 3 いない |
| （イ）恋人や大切な人と・・・・・・・・・・・・・・・・    | 1 ある | 2 ない | 3 いない |
| （ウ）両親や兄弟姉妹と・・・・・・・・・・・・・・・・    | 1 ある | 2 ない | 3 いない |
| （エ）過去 6 か月間にセックスした相手と・・・・・・・・  | 1 ある | 2 ない | 3 いない |
| （オ）通院している医師、看護師など医療関係者と・       | 1 ある | 2 ない | 3 いない |
| （カ）保健所の保健師と・・・・・・・・・・・・・・・・    | 1 ある | 2 ない | 3 いない |
| （キ）NGO、支援団体の人と・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 ある | 2 ない | 3 いない |

問 13 あなたは、友達や知り合いに HIV 陽性者（HIV に感染している人）はいると思いますか？（○は 1 つ）

- 1 いる
- 2 いると思う
- 3 いないと思う
- 4 いない
- 5 わからない

問 14 「HIV に感染していても、治療で血液中に HIV が見つからないレベルの状態（検出限界以下）が 6 か月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない」と言われています。

「U=U」とも言われていますが、あなたは知っていましたか？（○は 1 つ）

- 1 よく知っている
- 2 少し知っている
- 3 あまり知らない
- 4 全く知らない

<カフェイベント>

問 15 トランスジェンダーなどのために開催されている、次のカフェイベントそれぞれについて「これまで 1 度は行ったことがある」「知っているけど行ったことはない」「知らない」のいずれかでお答えください。

（○はそれぞれ 1 つずつ）

|                               | これまでに1度は<br>行ったことがある | 知っているけど<br>行ったことはない | 知らない |
|-------------------------------|----------------------|---------------------|------|
| I Am トランス☆カフェ                 | 1                    | 2                   | 3    |
| kinky cafe                    | 1                    | 2                   | 3    |
| トランス向けのクラブイベント                | 1                    | 2                   | 3    |
| HIV の予防のことをしている<br>コミュニティセンター | 1                    | 2                   | 3    |

－ここからはあなた自身の性生活や性交渉（セックス）に対するお考えについておうかがいします。－

これから、個人的なことについておうかがいします。繰り返しますが、このアンケートは匿名で行い、結果は統計的に処理されますので、個人が特定されることは決してございません。とても答えづらいとは思いますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

問 16 あなたは**これまでに**性交渉（セックス）をしたことがありますか？ なお、ここでの性交渉とはあなたが思う「性交渉として判断するもの」をさします。（○は1つ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 16-1 【問 16 で「1 はい」と回答した人のみ】

あなたが、性交渉（セックス）を初めて行った時期はいつですか？ 相手の性別、セクシュアリティは問いません。

（ ）歳

問 16-2 【問 16 で「1 はい」と回答した人のみ】

あなたは**過去 6 か月間に**、性交渉（セックス）をしたことがありますか？（○は1つ）

- 1 ある
- 2 ない

問 16-2-1 【問 16-2 で「1 ある」と回答した人のみ】

**過去 6 か月間に**、全部で何人と性交渉（セックス）をしましたか？（配偶者やパートナーも含めて数えてください。）（○は1つ）

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人
- 6 6人以上

問 16-2-2 【問 16-2 で「1 ある」と回答した人のみ】

**過去 6 か月間に、性交渉（セックス）をした時、あなたは次のうちの立場でしたか？（○はいくつでも）**

- 1 タチ（ペニス(ペニスバンド含む)をヴァギナ・アナルに挿入する側)
- 2 ウケ（ペニス(ペニスバンド含む)をヴァギナ・アナルに挿入される側)
- 3 リバ（タチとウケの両方）
- 4 ペニスバンド等による挿入行為をした
- 5 オーラルセックスをした
- 6 挿入行為はなかった
- 7 その他（ ）

問 16-2-3 【問 16-2 で「1 ある」と回答した人のみ】

**過去 6 か月間に、性交渉（セックス）をした時、あなたはコンドームをどのくらい使いましたか？ 最も近いものに○をしてください。（○は1つ）**

- 1 必ず使った
- 2 使うことが多かった
- 3 五分五分の割合で使った
- 4 使わないことが多かった
- 5 全く使わなかった
- 6 挿入行為はなかった

問 16-2-4 【問 16-2 で「1 ある」と回答した人のみ】

**過去 6 か月間に性交渉（セックス）をした相手とは、どこで出会いましたか？ なお、ここでの性交渉とはあなたが思う「性交渉として判断するもの」をさします。（○はいくつでも）**

- 1 掲示板
- 2 Twitter
- 3 スマートフォンの位置情報のあるアプリ
- 4 職場、学校
- 5 飲み屋
- 6 バー
- 7 ハッテン場
- 8 その他（ ）

問 16-2-5 【問 16-2 で「1 ある」と回答した人のみ】

**過去 6 か月に性交渉（セックス）を行った相手との関係性はどのようなものでしたか？ ここでの性交渉とはあなたが思う「性交渉として判断するもの」をさします。（○はいくつでも）**

- 1 恋人
- 2 セフレ
- 3 お客

- 4 その場限りの相手
- 5 その他（ ）

問 16-2-6 【問 16-2 で「1 ある」と回答した人のみ】

**過去 6 か月**に性交渉（セックス）を行った時、あなたが飲んだり使用したりしたものは、次の中にありますか？ ここでの性交渉とはあなたが思う「性交渉として判断するもの」をさします。（○はいくつでも）

- 1 アルコール（お酒）
- 2 ぼつき薬（バイアグラなど）
- 3 静脈注射のドラッグ
- 4 ラッシュ
- 5 大麻／マリファナ
- 6 覚醒剤
- 7 MDMA
- 8 そのほかの違法薬物
- 9 脱法ドラッグ
- 10 咳止め（咳症状をおさえる目的ではなく）
- 11 処方薬
- 12 いずれも使用していない

問 17 あなたは、**これまでに**相手に**お金を払って**性交渉（セックス）をしたことがありますか。ここでの性交渉とはあなたが思う「性交渉として判断するもの」をさします。（○は1つ）

- 1 ある
- 2 ない

問 18 あなたは、**これまでに**相手から**お金をもらって**性交渉（セックス）をしたことがありますか。ここでの性交渉とはあなたが思う「性交渉として判断するもの」をさします。（○は1つ）

- 1 ある
- 2 ない

問 18-1 【問 18 で「1 ある」と回答した人のみ】

あなたが、**一番最近に**相手から**お金をもらって**性交渉（セックス）をしたのはいつですか。（○は1つ）

- 1 6 か月以内
- 2 6 か月から 1 年の間
- 3 1 年から 3 年の間
- 4 3 年から 5 年の間
- 5 5 年以上前

問 19 **過去 6 か月間**の行動を振り返って、自分自身が HIV に感染している可能性があると思いますか？  
最も近いものに○をしてください。（○は1つ）

- 1 全く可能性はなかった
- 2 あまり可能性はなかった

- 3    どちらとも言えない  
4    少し可能性があった  
5    かなり可能性があった  
6    HIV 陽性者である（すでに HIV に感染している）  
7    わからない

一次に、HIV 抗体検査（エイズ検査）などについておうかがいします。－

\* HIV 抗体検査（エイズ検査）とは HIV を持っているかどうかを確認するための検査のことです。

問 20 あなたは**これまでに**、HIV 抗体検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。（○は1つ）

- 1 ある      2 ない

問 20-1 【問 20 で「1 ある」と回答した人のみ】

あなたは**過去 1 年間に**、HIV 抗体検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。（○は1つ）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 1年以上前に HIV 陽性と確認している
- 4 答えたくない

問 20-1-1 【問 20-1 で「1 ある」と回答した人のみ】

あなたが**過去 1 年間に**受けた、HIV 抗体検査（エイズ検査）の場所はどこですか。（○はいくつでも）

- 1 保健所の即日検査
- 2 保健所の夜間検査
- 3 保健所の即日・夜間検査以外の検査
- 4 病院
- 5 クリニック・診療所
- 6 郵送検査
- 7 特設の HIV 検査施設（南新宿検査・相談室など）
- 8 その他（ ）

問 20-1 【問 20 で「2 ない」と回答した人のみ】

あなたが HIV 検査を受けていない理由は何ですか？（○はいくつでも）

- 1 結果を知るのが怖いから
- 2 感染している可能性がないから
- 3 感染しているかどうかをあいまいにしておきたい
- 4 ジェンダー/セクシュアリティを伝えるのが面倒である
- 5 お金がかかるから
- 6 検査場所を知らない

- 7 検査の機会がなかったから
- 8 もし感染が分かってもし医療機関に行くのがいやだった
- 9 もし感染が分かってもしどこに行ったらよいか分からない
- 10 その他（ ）

問 20-2 【問 20 で「1 ある」と回答した人のみ】

あなたは定期的に、HIV 検査を受けていますか？ （○は 1 つ）

- 1 定期的に受けていない
- 2 3 か月に 1 回以上は受けている
- 3 6 か月に 1 回は受けている
- 4 1 年に 1 回は受けている
- 5 感染リスクのある行為の後に受けている
- 6 その他（ ）

問 21 **これまでに** HIV 以外の性感染症の検査を受けたことがありますか？（○は 1 つ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 22 **これまでに**通院している病院の先生から HIV 検査を勧められたことはありますか？（○は 1 つ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 23 出生時に割り当てられた**法的な性別に違和感**を覚えている方に伺います。違和感を覚えるようになってから、HIV 検査に関してこれまで使っていた(行こうと思っていた、検討していた)病院や保健所が使いにくくなったことはありますか？（○は 1 つ）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 違和感を覚えたことはない

問 24 出生時に割り当てられた**法的な性別に違和感**を覚えている方に伺います。違和感を覚えるようになってから、性感染症の心配があったときに、これまで使っていた(行こうと思っていた、検討していた)病院やクリニックに診察を受けにくくなったことはありますか？（○は 1 つ）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 違和感を覚えたことはない

ここでは、(PrEP, プレップ)「性交渉の前後に、継続して服薬することで HIV 感染のリスクを下げる予防法」についてうかがいます。

問 25 (PrEP, プレップ)「性交渉の前後に、継続して服薬することで HIV 感染のリスクを下げる予防法」について知っていましたか？（○は 1 つ）

- 1 とてもよく知っている
- 2 具体的には知らないが、聞いたことはある
- 3 まったく知らなかった
- 4 すでに使用している

PrEP とは…

(1) HIV に感染していないが、感染リスクがある人が、HIV 感染予防のために 1 日 1 回 1 錠の薬を継続的に飲むものです。

(2) 海外では認可されているところもありますが、日本では認可されていません。個人輸入で購入している人もいますが、以下のような注意点があります。

- ・ 開始前に HIV 検査で陰性であること、腎臓機能に異常がないことを確認する必要があります
- ・ PrEP をおこなっている間も、定期的に HIV や性感染症の検査を受けます
- ・ 腎臓の機能検査を受けることが求められています（腎臓に問題が生じる場合があります）
- ・ PrEP は、毎日服用すれば HIV 感染リスクを大幅に下げますが、ゼロにするわけではありません。また、他の性感染症の予防にはならないので、感染症予防のためにはコンドームも同時に使うことが大事です。

(3) HIV 感染リスクがあった後に、HIV 治療と同じ服薬をおこなう PEP（ペップ）という方法がありますが、それとは別のものです。

－ここからはあなた自身の性生活や性交渉（セックス）に対するお考えについておうかがいします。－

これから、個人的なことについておうかがいします。繰り返しますが、このアンケートは匿名で行い、結果は統計的に処理されますので、個人が特定されることは決してございません。  
とても答えづらいとは思いますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

問 26 あなたは**これまでに**性感染症にかかったことがありますか？（○は 1 つ）

- 1 ある
- 2 ない

問 26-1 【問 26 で「1 ある」と回答した人のみ】

**これまでに**かかったことのある性感染症はどれですか？（○はいくつでも）

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| 1 梅毒       | 6 クラミジア    | 11 その他の性感染症 |
| 2 A 型肝炎    | 7 淋病       |             |
| 3 B 型肝炎    | 8 性器ヘルペス   |             |
| 4 C 型肝炎    | 9 赤痢アメーバ   |             |
| 5 尖圭コンジローマ | 10 HIV 感染症 |             |

問 26-2 【問 26 で「1 ある」と回答した人のみ】

性感染症に罹患した際、あなたは実際に病院に行きましたか？（○は 1 つ）

- 1 行った

- 2 行きたかったが行けなかった
- 3 行っていない

問 26-2-1 【問 26-2 で「2 行きたかったが行けなかった」または「3 行っていない」と回答した人のみ】

行かなかった理由は何ですか？（○はいくつでも）

- 1 お金がなかった
- 2 怖かった
- 3 ジェンダー/セクシャリティ開示が嫌だった
- 4 医療者に説明するのが面倒だった
- 5 医療機関で嫌な思いをしたことがあるから
- 6 その他（ ）

問 26-2-1 【問 26-2 で「1 行った」と回答した人のみ】

その時の医療者の対応はいかがでしたか？（○は1つ）

- 1 とても良かった
- 2 まあよかった
- 3 あまりよくなかった
- 4 全くよくなかった
- 5 覚えていない
- 6 その他（ ）

<セックスワーク>

問 27 あなたは、**これまでに**性風俗系のお仕事をしたことがありますか？（○は1つ）

- 1 ある
- 2 ない

問 27-1 【問 27 で「1 ある」と回答した人のみ】

**これまでに**、以下のどの場所・方法で、性風俗系のお仕事をしましたか？（○はいくつでも）

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 ちょんの間（旧遊郭）    | 5 ピンクサロン |
| 2 ソープランド        | 6 個人売春   |
| 3 デリバリー（派遣型）ヘルス | 7 売り専    |
| 4 店舗型ヘルス        | 8 その他（ ） |

問 28 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関して伺います。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が起きる前と比べて、あなたの生活環境や行動に変化はありましたか。（○はいくつでも）

- 1 新しいパートナーや友人との出会いがあった
- 2 SNS やオンラインでつながるスキルが向上した
- 3 新しい仕事が見つかった
- 4 仕事量（残業含む）が増えた
- 5 仕事量が減った

- 6 失業した
- 7 収入が増えた
- 8 収入が減った
- 9 家にいられなくなった
- 10 住むところを失った
- 11 アルコールを飲む量が増えた
- 12 ドラッグを使用することが多くなった
- 13 SNS をする時間が増えた
- 14 家計の支払い（税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど）に困った
- 15 給与や年金の支給日前に生活費や家賃の支払いに困った
- 16 気分が落ち込む日が多くなった
- 17 自宅で、友達と過ごす時間が増えた
- 18 自宅で、一人で過ごす時間が増えた
- 19 パートナーと過ごす時間が増えた
- 20 テレビを見る時間が増えた
- 21 テレビを見る時間が減った
- 22 セックスの頻度が増えた
- 23 セックスの頻度が減った
- 24 セックスの相手が増えた
- 25 セックスの相手が減った
- 26 あてはまるものはない

問 29 最後に、あなたは現在心配なことや困ったことを相談できる相手がありますか？ （○は1つ）

- 1 いる
- 2 いない
- 3 その他（ ）

ご協力ありがとうございました。